



# なにわ名物

http://www.naniwa-meibutsu.com/

# NEWS

2018-No.1

## なにわ名物開発研究会

通算第35号 発行:なにわ名物開発研究会  
〒542-0074 大阪市中央区千日前2-11-10 いづもやビル4F  
TEL:06-6643-3150 FAX:06-6643-3140

なにわ名物開発研究会、22回目の新年を迎えました。

設立当時に生まれた子供さんもすでに成人、よく続いてきました！地縁や業界縁につながらない「異業種・異分野のネットワーク」として設立された当会はこの間、現会員数を大きく上回る人たちが関わってきました。

地域の町内会や各業界団体が人口減少や業界の縮小によって会員数が減少する局面を多く見受けませんが、当会にはその心配は無縁です。

しかし、当事者・主人公である会員ひとりひとりがアグレッシブにならないと活動が沈滞するというのも大きな特徴です。絶えず新しいメンバーが加わり、老若男女さまざまな人たちが柔軟に動き回る。なにわ名物開発研究会の活力はまさにここから生まれ、会員個々が元気になって大阪のまちが元気になる。このサイクルがつねに回り続けなければなりません。

「叩けば叩くほど大きく響いてくれる太鼓」のような組織です。

ぜひ、今年もあなたのやりたいことをこの会を通じて実現させてください。

20年余培ってきた当会のネットワークがおおいに役立ってくれるはずですよ。

「万博誘致」をめざす大阪、20年前とくらべ飛躍的に国際観光都市への道を進んでいます。「上方～大大阪」の輝きをいまこそ取り戻すとき、なにわ名物開発研究会の活動がさらに期待されています。



会長・代表幹事  
野村 育郎

## ● 12月度特別例会 大衆演劇「観劇で感激するカンゲキツアー！」

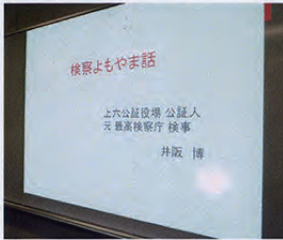


劇団飛翔のカンゲキツアーを通天閣のそばの浪速クラブで観劇しました。入場料にお弁当、旅芝居専門誌、特製ペンライト、カンゲキツアーのしおり、キャンディなどがついて¥4,000は豪華プランでした！常連客の人もキヤキヤ騒いで雰囲気も最高でした！こんな世界もあるのだと我々も多に楽しめました！





● 9月度例会 9月15日(金)



「検察、よもやま話」と題して大阪地検の元主任検事の井阪博さんに講演いただきました。(残念ですが、講演内容や写真は講演者の守秘義務により掲載いたしません。)

● 11月度月例会 11月21日(火)

「名物プロデューサーが語る～旧くからある新しい大阪再発見～」と題して株式会社ケイオス澤田充さんをお招きして講演していただきました。



澤田さんは商業施設開発、町のプロデューサーとして都心エリアの再生プロジェクト、街ブランドプロジェクトなど、20数年にわたり多くの実績を残され活躍されています。本日はその一端を熱く語っていただきました。

● 10月度月例会 10月16日(火)

10月の月例会は「なにわ名物開発研究会」の会員の「オダサク倶楽部代表、井村身恒さん」に「オダサク伝説～わがまち大阪～」と題してお話していただきました。



● 地域資源開発部会 10月3日 大阪港物語1部



J R 夢咲線「桜島」集合。下町と倉庫群を通り抜けて天保山渡船で築港へ渡る。案内人は作家の石浜紅子さん。大阪港には隠れた名店や歴史的スポットもたくさんある。茶碗蒸しラーメン、隠れた中華の名店の水餃子、駅に展示している菱垣廻船の模型。住吉大社の分社、住吉神社、高野山の分寺、赤レンガ倉庫など見どころ一杯。そして古い下町の顔。新エリアだけでないベイエリア。石浜さんのわかりやすい解説でますます大阪港が好きになりました。

● 地域資源開発部会 9月2日



石切探訪! その1は「河内木綿はたおり工房」さん。なにわ大賞を受賞された後に日下から石切へ移られました。代表の中井さん、なにわ大賞の盾を大事に飾ってくれてはります。



石切探訪その2 石切参道 つけもの横丁、きくち食品さんで漬物づくり体験です。





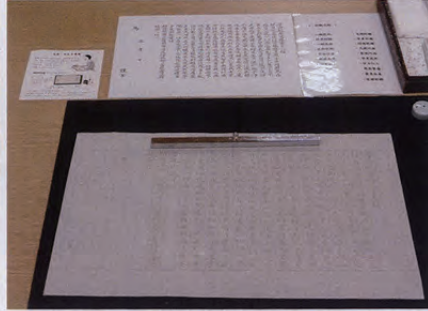
● 地域資源開発部会 11月7日 大阪港物語2部



日本聖公会川口基督教会・幻の外国人  
居留地居留地跡を訪ねてというタイト  
ルです。作家の石浜紅子さんに案内し  
ていただきました。コースは阿波座駅三  
番出口(ジオラマ前)～津波高潮ST(六  
軒屋関門碑)～船番所～大阪港開港碑  
(電信発祥碑、明治天皇碑)～安治川橋碑  
～居留地議事堂～川口基督教会～



● 商品開発・ビジネス合同部会 9月26日



下寺町の和空を訪ねました。  
精進料理、写仏、写経、法話。参  
禅会やその他の体験もできる  
そうです。この建物はもともと  
バイクショップだったのですが  
今は綺麗に凝縮された「和の空間」に生まれ変わりました。もちろんお  
寺ではありません。新しいビジネスモデルの構築。

● 商品開発部会 10月26日



生野区今里の「かさはな」さんを  
訪ねました。アートを街へ解き放  
て(生野区今里の工房・かさはな  
)「(株)かさはな」では、作家とコラ  
ボしてオリジナルの傘をプロデュ  
ース。さまざまな作品より「これを  
傘にして、街を彩りたい」という夢  
を実現してきました。大切な着物  
を「傘」としてもう一度花を咲か  
せてみるのが着物傘です。今回は夢  
を形にする商品開発の現場でお  
話をお聞きました。



講師はさまざまな大阪土産、大ヒット商  
品を開発してこられた(株)伴PR企画  
の伴一郎社長で「くいだおれ太郎」「か  
に道楽」「づぼらや」などのストラップを  
年間60万個販売し続けた実績がありま  
す。後半は「大阪名物「たこべえ」でおな  
じみの菓匠宗禅の山本佳明氏の経営戦  
略について。商品開発とは何かと考えさ  
せられました。

● 商品開発部会 11月8日





● 商品開発部会 12月13日



大阪府堺市の古墳群のある百舌鳥のお土産物屋さんと料理屋さんを訪ねました。どちらもJR阪和線「百舌鳥」駅の近くにありますが、当会商品開発部会員の立花孔一さんが堺市より委託を受けて経営している「もず庵」、古墳グッズを中心に泉州地方の特産品がいっぱいです。またNPO百舌鳥・古市古墳群を世界遺産にしよう会理事で堺百舌鳥歴史探検隊の会長の中屋麗子さんの古墳カレーは商標登録もとっております。とってもおいしいカレーでした。



● 観光チーム 10月21日

台風21号が接近するなか「岸和田歩きツアー」に12名のご参加をいただきました。当初計画していた計画は変更を余儀なくされてしまいましたが、『五風荘』でのランチ、『だんじり会館』でだんじりについて深く学ぶことができました。



● なにわ食道楽 うまいもん探検隊

第24回大阪たべある記 11月2日  
東心斎橋なるみ  
「なにわ商(秋)人(あきんど)を  
味わう 舌の誓文払」

第25回大阪たべある記 12月14日  
新大正庵  
「蕎麦は(義士々々)噛ま(亀)ずに、  
来年大勝(大正)を(釣る・鶴々)」

● 新入会員紹介

穴戸 健二 NPO法人浪速鳶伝統保存会

酒井 博文

● 番外編 懇親会風景



／新／会／員／募／集／中／

なにわ名物開発研究会は、大阪で頑張る「メーカー」「流通」「サービス」「コンサルタント」「クリエイター」など業種・業態、ついには「業」さえも越えたヒト・モノ・コトのネットワーク組織です。毎月の例会を始めとする多彩な行事で、会員間の交流・関係諸団体との交流を図りながら、大阪の活性化を目指しています。現在新会員を募集中。詳細は事務局までお問い合わせください。

【正会員】入会金10,000円 年会費36,000円

【準会員】入会金 5,000円 年会費18,000円

Mail: info@naniwa-meibutsu.com

URL: http://www.naniwa-meibutsu.com/